上野市社会事業協会 •• 2003 •••

2003年1月20日 第 3 号 社会福祉法人上野市社会事業協会発 行 者 森 下 達 也 集責任者 西 岡 時 彦 〒518-0032 三重県上野市朝屋739番地の2 - 2 1 - 2 3 0 5 9 5 5 5 0 5 9 5 ΑX 6 6 7 0

新春偶感

社会福祉法人 上野市社会事業協会理事

長

森下達

也

では、 では、 では、 である。 「目つきがいいとはあまりまがいいねえ」と言われた。 「目つきがいいいとはあまりまがいいねえ」と言われた。 「目つきがいいとはあまりる。 という風に使われることが多く、目つきがいいとはあまりまがいいねえ」と言われた。 「目つきがいいいとはあまりることになるのであろうか。

近在の児童福祉関係者がテーブルを囲み雑談していた時

も見習いなさいよ」と口から出かかって、 発案から事業開始に踏み切ったものだった のことだ、そういえば大方は保育士たちの のみ方式障害児療育を拓いたのも十七年前 ター事業などに取り組めたわけだし、かし は内心「その通り、だから先駆けで一時保 それほどでも」とヘンな謙遜をしながら実 メホメの言葉を私に下さった。「いえいえ になって出ているから不思議だね。」とホ るし、民間としての仕事への意欲が目の光 育士に声をかけても生き生き応答してくれ ホームでも多分同じなのだろうが、どの保 育園職員たちの目つきは確かにいい、老人 のこと、 わてておさえたのである。 要は人間だよ、エヘン。」とひそかに 休日保育、学童保育、子育て支援セン ある市の行政マンが「おたくの保 た。もう少しで「県下の公立さん

しかし考えているうちに、よい目つきに

囲気だ。いやいや変な意味じゃない。 や雰囲気があるなあ、 関係四公団民営化推進委員会で激しく対立した五人と二人 当たり前のことだろう。 きと、ノーベル賞学者の目つきが何か違っていたとしても、 もいろいろあるだろうなと思い始めた。 んだが。」 の委員さんだけど、五人の方には何となく共通した目の光 た学者氏がぽつりと言った。「目つきと言えば、先日の道路 出るまい。あれこれ思っていたら、テーブルの端の方にい の質を向上させようという意欲がなければ、よい目の光は きなどなど。サッカー選手の目つきと、老人介護者の目つ やさしい目つき、 突進する目つき、じっくり思案する目つ 対立する二人の方はまた大分違う雰 何れにしても、 それぞれ真剣な目な 自分の中味と人生 戦闘的 な目つき、

のだ。 記する手法を何故とらないのだ。ある 見が正しいとしても、二人の意見も併 から、 選ばず押し切ってよいのなら、あのヒ るものだ。完全に無視すべきでない は民主社会本来の多数決とは似て非な 考えで選んだ委員たちなのだから、あ 対意見を傾聴しながらやってほしいも そういえば福祉の改革も、もう少し反 トラーの行動でさえ、ある時点までは 革というターゲットのためには手段を でも併記して諮問してきた。国家的改 対意見がある場合、 あなるのは当たり前だろう。五人の意 違っている、 ていた。 容されることになるのではないか。 何時の間にか私の頭は「目つき考」 あの委員会の多数決の方へ移っ あの多数決はどう考えても間 国会とは違って総理のお 例えば商工会議所 反 n



写真/伊

賀路

黎明·曽我宏

います。

年に

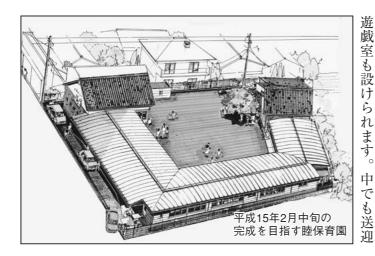
開設

まし

n

れ昭

院育園



子どもたちの安全を守るために

保育園の大きな役割の一つには、子どもたちの

当委員会では年間を通して、防災、防犯訓練や、

消防署員に指導していただきながらの避難訓練を

実施したり、推進委員が各保育園を巡回して、第 三者的な視点から施設・設備の点検を行ない、危 険箇所の改善をするようにしています。また、救

命講習会を開催して、全職員がいざという時の応

命の安全を守ることがあげられます。当協会の保 育園では職員の安全意識の向上と施設安全対策を 推進強化するために施設安全推進委員会を設けて

もうすぐだね 新しい保育園の完成

園舎は鉄筋平屋建て、 建設が進められています。 方 々のお力添えをいただき り、 た。 り改築されることにな 関係各位のご出席をい 方や地域の皆様をはじ ただきました。行政の れ、上野市長をはじめ、 日地鎮祭が執り行なわ 平成十四年九月三 伝統あるこの保育 本年度事業によ

- 方メートル、幼児組保育室四室、 また、多目的に利用できる 約五百六 す。 ます。 いきたいと思います。 育事業を追 平 -成十五年度から、

ながら、 め多くの

> ありがたいことです。 ースを設けることができたこと の安全を確保するための若干の 今まで困っていただけに、

と、二月末の竣工を心待ちにして なるんやろな」「早く入りたいな います。「どこがぼくらのお部屋に アオギリの木がまだ残ってるよ 々近くまで散歩に行って見学して 子どもたちは完成を待 ち み、

保護者の子育てと就労支援に努めて 地域の皆様に支えられながら、 加して保育を開 当園は延長保 始しま

曙 保

開

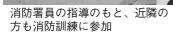
保 n

の参加者が集いました。 が開催され、 による公開保育 いて、 成十 三重県社会福祉協 兀 年十 県内各地から約九 月十日、 (一般保育士研修) 曙 議会主催 保育園に 十名

お

応につい らも感嘆の声が聞かれました。 ても特色ある園舎は、 野市の景観に配慮された建築物とし 保育や施設・設備等を見学され、 午後は **上育や施設・設備等を見学され、上午前中は思いおもいに各年齢別の** て」と「乳児保育 「多様な保育ニーズへ というふたつの どの参加者か の質の 0) 向対

急処置ができるようにしています。 近年、児童の殺傷事件や遊具による死亡事故が 相次いで起こっていま 当委員会では子ど もたちの安全を守るた めの情報をいち早く得 るようにして、予防対



策を迅速に行なえるよ うに努めています。

究を進めていた 期大学と共同 ついて、 育の質の向上に 要性を感じ、 育園ではその必 当協会立保 高田 研短 保

ので、その取り組み 者の参考にしてもらえること 0) 部を紹介

育の質を兼ねそ るには、 が条件になりま なえていること 育事業を実施す 高 い保

もの マでそれぞれ分科会が行なわれ 県下で初めて実施した休 日保 育

く評価されました。 いう、当協会の前向きな姿勢が大き でみる」という視点に立つことだと 大限に活用して、 現状の人的、 ために必要と思われる事業に 保護者の就労形態により子ど 物的環境等々を最 「まずは取り組ん

多くの特別

意義な一日でした。 を惜しまないことを確認し合えた有 できたと思います。 参加 質 最善の利益を守るため、 社会情勢が複雑化する中、 の高い保育を行なうための努力 今後もよ

第

子どもた あそぼう ち 品 2 展 0 02

そぼう マを設定しました。 う子どもたちの思いを受けとめ、 ムうえの 創作遊具を作りました。 れんじ・げんきっこ・ ボル塔を中心に の自然物や廃材をふんだんに使 [子どもたち作品展』を開催しま 成 十四 四コーナー 第一競 2 0 0 2 作した作品で遊びたいと 技場にお 月 十九 「かくれんぼ・ち 共同制作は、 秋 H というテー いて どの広場 木の葉な わくわく W いめドー 第十



手づくりの作品であそぶ子どもたち

子どもたち作品展に関わったスタッフ

ŋ, れました。れました。 らうことができました。 しました。 もらしく描かれていて来場者を魅了 合計九百七十名の絵画はどれも子ど を飾った三歳児、 か その他 らも のコーナーもあり、 子 育児相談、 いきりあそび、 ども また「森の音楽会」では たちの 四歳児、 歓 健、 声 会場の周囲 楽しんでも 給食、 が響き渡 五歳児、

盛況のうちに 乳

楽しく食べて、心豊かに 食育事業への取り組み

では、

子どもたち

そこ

興味をも

が高ま

いろいろな取り

組

県が計

画し

当協会が

の中から生まれてきた子どもたちの今まで行なってきた菜園活動や生活 まし こへのの ことにより が広がるようにしてい 子どもたちの「食」 本にするなどして、 や腹話術で再現したり、 で栽培した いな野菜 自分たち 中から生まれてきた子どもたち 事業の委託を受けることになり と決め、取り組んでいます。 ち、 今まで行なってきた「食 みを行なっています。 るよう、 が食事や食材等に で保育園 育 するには、 応募したところ、 テーマを 元気なからだが 的な保育活動が認められ、 幸い今年度、 やエピソー が特に大切です。 食育モデル園事業」に 食」への関心

ったり、旬 が嫌 食 べられ から



そこからさら への興味や -ドを、 カル 『食』への関心を ルタや絵 広めます 寸

誰でも利用できる 『一時保育事業』

《ピッコロ》

曙 保 育 園 上野市徳居町3272-2 · Fax 0595-21-2222 Tel · Fax

《きらら》 みどり第二保育園

上野市緑ヶ丘本町1681-2 Tel 0595-23-5071 Fax 0595-23-3699

- ・週2~3日だけ働きたいとき
- 病気や事故でお休みのとき
- お家の誰かが病気などでお世話が必要なとき
- 急な用事ができたとき
- ・研修会などに参加したいとき
- ・その他一時的に保育を必要とするとき



います。 給食 「食」へ す。このような取り組み りもできるようになってきたようで だより の関心が高まるようにし 等で家庭 へも発信 をさらには ï

を広げ、 な食

生涯

を通して豊

八味や

生活

が送れるように

乳幼児期

0

「食

るようにしていきたいと思います。 生 一涯にわ ますます子ど たって ح

もたちの健やかな心身の育成が図れ の事業の委託を機に、 康な生活を送る基礎になります。 食べることは、 楽と出会った感動を、

間に間に語られ

人と出会い、

えず鍵盤の上を軽や る時田さん。指はた

ロディを奏でます。

に咲く花のよう や「月の砂漠

全十八曲を熱唱

かに動き、

美しいメ

と「赤とんぼ」を合唱し、

会場が一

深みのある声が会場

時に優しく

人々を魅了しまし

フィナーレでは

「ふるさと」

に心打たれました。

になった時、

歌の力の素晴らしさ

老人・ 身障施設のペ 1 ジ

笑顔と笑顔の一 日でした

という重い障害の きたいとの思いから、 ぎわった梨ノ木広場では、それぞれ 行なわれました。たくさんの方でに ました。この日のメインイベントは、 や日常の様子を紹介させていただき コンサートでした。生後半年で失明 盲目のバリトン歌手、 施設により親しみを持っていただ 七日、 がしだいに深まっていく十月二 第二回往古梨まつり』が 中 各施設の特徴 時田直也氏の

> 楽しんでいただきまし 食事をして、ゆっくりと秋 や栗ぜんざい等の模擬店で自由にお お昼は松茸ごはんに豚汁、 0 、味覚を おでん

場を移して行なわれました。 梨ノ木園は引き続き梨ノ木広 午後の催しはそれぞれの施設に会

アの方々の前で舞台に上がり緊張気 披露しました。ご家族やボランティ お年寄りが日頃のクラブ活動

に生き生きとお過だきました。これたかい拍手をいた と思います。 ごしいただき 味でしたが、 あた た

素晴らしい歌声を披露して下さる時田さん な品 スモス等 かれました。 三階娯楽室 を選んで葉書に写 自 絵手紙教室」 分の書きたい物 第二梨ノ木園 が並べられ、 やもみじ、 いろいろ で 机 机 が上 開 は コ 0)

とするのではなく、 書けば良いのですよ」と講師の森田 生していくの です。「上手に書こう 見たそのままを

> に る が ら 声 ました。 の絵手紙が出来ていき 枚しかない自分だけ ら声をかけて下さ さん 世界でたった 皆さんの手元 が 見 廻 ŋ

> > 老人デイサービスセ

ン

ア

ッ

始まりました。 「いつでも夢を」を皆 リエーションゲー で歌ってなごやかに 階ラウンジが会場で、 梨丘 園の催 しは レク 声



ゲームも楽し

ただけま

地元老人ク

倒

子防教

こうして今年の往古梨ま

今年も良い 一年で

ありますように~

きます。職員もまた、今年一年 から無病息災への願いが伝わって されるお年寄り。 その真剣な横 \dot{o}

ます。元気なお年寄りは、

約二

丰

神社と西蓮寺への初詣から始まり

梨ノ木園の新年は、

毎年、

射手

だきます。 身体の弱い方々にはマイ |待も大きいです。 引くよ」とみなさんの期 です。「今年こそ大吉を 安全祈願をこめて合掌し クロバスで参詣してい みくじも楽しみのひとつ ます。お参りのあとの また、 お

新しい年が始まりました。 今年もお元気でー こうして、

きます。 ます。参道の砂利を踏 ら歩調を合わせて歩き のぬくもりを感じなが る手に伝わるお年寄り る寒さの中で、誘導す りをしながら歩いて行 身の引き締ま 石段を一段一 冷たい水で手

段登って社の前に立ちます。 を鳴らして、 おも いに合掌を

盲養護老人ホー

4

梨ノ木園

の道のりをおしゃべ

鈴緒

13

しをうはみが、 そうで 何 兄 と手を握 ? ても 年 - 弟 年 5 は 皆さん しったり 今度はいつ会えるかな?~の小学校児童との交流 と きいし 生 年に二回 , す嬉 でのい児 おい ? る 。し \Box



年生の児童が来て下さい つになっています。 が行なわれまし ずさんだり 寄りにとっ もう一 の朗読 方は 年寄り して す 7 、ます

いただきま~す

~おなかの健康と乳酸菌~

糖を分解して多量の乳酸を作る性質をも つ菌を総称して、"乳酸菌"といいます。ビ フィズス菌やラクトバチルスなどの乳酸菌 は腸内の環境を弱酸性に保つことで、悪い 菌が増殖するのを抑えたり、活動しにくく しています。また、病原菌を排除したり、 免疫機能を高める働きがあることもわかっ てきました。

ヨーグルトは、牛乳が乳酸菌によって発 酵されてできる食品です。乳酸菌が作り出 す乳酸や酢酸は腸管の運動を促進させるの

で、便秘・下痢といった 便通の異常にもヨーグル トは有用といえます。

乳酸菌や食物繊維など を日々の食生活の中に積 極的に取り入れ、バラン スのとれた食事を心がけ ましょう。



な

リハビリを楽しむ

~作業療法士さんとともに~

がのニ て 近取た さん が 11 み など スムー げ ま 週 グ ず。 0) 、ツド 下 0) をし 口 動 メ 0) げ 緒に自いか ズに が上 \equiv からのが上手 利 来 で的 か た ユ ず 用 袁 11 リハビリカを改れ] で L 者 できるよう になりた できるよう できるよう できるよう できるよう できるよう 7 下 IJ ž

すいた送いのしがき意ひお もだっ生人でら出欲と一れ利 ます。 て活らも しをり人 そ少な引のお



用 者 かとをついて歩けるよ 位がとりやすくなっ 方から笑顔で知らせ

作梨平

念 さ

法

保

家庭での介護や看護についる

な やみごと

しんぱいごとは ありませんか?

なしのきに ご相談下さい。

っといい方法が 見つかるはずです。

在宅介護支援センタ・



 \mathcal{O}

ご相談のある方は、下記まで ご連絡下さい。

介護相談・介護計画作成や 介護保険以外の福祉サービスの 手続き**(代行業務)**等も お手伝いいたします。

TEL 22-0505 FAX 22-0506

々は急い

、で紅葉

やってきた

老人デイサービスセンターなしの

うと、

日

帰り旅行を計

葉狩りをしていただこ

袁

では在園の皆さんに めました。そこで梨

しました。

近くは名張

と思っ を立てたい 皆さんに喜 帰って来ら を浮かべて これからも 満面に笑み 日帰り旅行って楽しいね 〜梨丘園〜 でいただ るプラン ました。 歓声をあげ、

鳥羽水族館行きの日は快晴に恵 やジュゴンに感激 美しさを充分満喫できました。一方、 ライブし、湖を取り巻く日本の秋の んでしたが、比奈知湖をグルッとド 念ながら車外に出ることが出 かったため、 指しました。水族館ではラッ 周りの紅葉を眺めながら目的 朝から大変寒く風も ダムに着いてからも アシカショ 田来ませ



さな旅 秋 を

訪

ね

見てのんびり過ごし、管理棟内の植園の高台では、里山の雄大な景色をな!」と声が上がっていました。公 き先は、上野市下友生にある「三重計画しました。その 小さな旅 の行 内 では、カエデの葉が県上野森林公園」。 配を感じていただきたくて小旅行を デイサービスセンターなしの のどこからともなく 利用者の皆さんに深まる秋の 月 |虫の写真パネルを見学するな カエデの葉が色づき始め、 中 旬 のさわ P 公園までの 「きれい 道 車中

「エエ

気

寄り 長

1

てみ満や

面

0)

を

下

まで足をのばそうと

11

ń

二つのプランです。

比奈知ダムに出

発 0)

残 強 Н しみ、

遠くは鳥羽水族

館

の比奈知ダムの自

然を

おもいにれた皆れた皆加

過ごされて



ほけんだより

医学博士 谷本廣道

コ

地

足首の捻挫(足関節捻挫)は、スポーツ でおこる最も多い"ケガ"のひとつです。 バスケットボールでジャンプの着地を誤っ て人の足の上にのってしまったり、サッカ ーでグランドのくぼみに足をとられて、足 首を捻ってしまったということを経験して いる人も多いと思います。

捻挫とは、関節を支持、安定させている 靱帯が痛むことです。足首の捻挫は、足首 を内側に捻っておこることが主な原因です。 そのため足首の外くるぶし付近に腫れ、痛 みを起こします。患者さんの中には、X線 による診断で「骨折はありません、捻挫で す」とお話しますと、安心する人が多いよ うです。しかし、「ああ捻挫だけで良かった」 と安易に考えて、靭帯が伸びたまま、断裂 したままの状態で放置してしまった人、ま た医療機関の治療を受けない人は、ちょっ としたくぼみに足をとられても捻挫してし まう"捻挫ぐせ"になりますので要注意で

で記念写真 最後に全員 いました。 لح 分は お最 いせ笑

を撮り、

年

今後も毎日の生活の生きが 続けていきたいと思

じて、 となど、普段と少し違う雰囲 中でもメニューやお互いの料理のこ で話し合い決めていきます。 どで外へ出た時などに探し、 にするかは、新聞やテレビ、 ちらかで出かけています。 それぞれに楽しんでおられるようで などで話が弾みます。 四季折々の 気候の良い時は、 本年度より趣向を変え「お楽し れまで実施していた「昼 車内から見る外の景色のこと 昼食中心 と 喫茶中心 利用者のご希望に応 木や草花に触れ また、 食後に散 どのお店 外出当 皆さん お店の 通院な 11 のど 0)

日は、

砂外出

を、

で大阪の天保山

気に恵まれ

にぎやかなものに

É

のために歌

身障施設のペ

と

大の

意

B

かしの木ひろば"秋のときめきバス旅行in天保山



マーケット 慣れた自分のCDを持参して熱唱してくれる方 ブレースへ行きました。 もいました。 調べてあった目的地にわかれ、 シアターを観られた方などそれぞれ ただきました。 のんびり過ごしていただきました。 に乗られた方、観覧車を楽しまれた方、 に大阪の名物をいろいろと味わ バスの中はカラオケで盛り上 なにわ食いしんぼ横丁 到着してからは、 を中 事前に 遊覧船

んで「 家族へのお土産を袋い |楽しかったです」 | 大阪 の 一 買 そ日込

去る平成十四年十月六日 回上 上野市

始の宣言が行なわれる気が漂っていました。 頑張ろうという意気込みと熱気が伝 こだいに力が入っていきました。 方々でい りと次々競技が続く中、 の宣言が行なわれると、 会場は選手、 大まり送り、 でなごやかな雰囲 ボラン 応援にも 皆さんの 競技開 ・ティ

> れないですか」との声をいただくこ は銀七宝や噴油七宝など技法が広がて焼き直しをしていましたが、今で います。始めは一色塗りやフリット っています。 (石)を置くだけでも空気がは -成六年の九月から北寺真弓先生 咲く・作品展』では「売ってく 聴覚障害者の中林道子さんにご ブローチ、タイピン等を作 いただき七宝焼のキーホル 毎年行なわれる

た人もいて楽しんでいます。

せていただきました。百個以上

文化祭には北寺先生と一

緒に出展さ

ともあり好評です。また、上野市民

回上野市障害者スポーツ大会」が開勤労者体育センターにおいて「第二 名の利用者の方が参加され かしの木ひろばから むことが できる は会ポ 交流も同 など様々でした。 1 競技を楽しむだけでなく、 ッ ス

は二十一



輪なげに熱中する参加者

方と懐かしそうに話をする方、 ンティアさんと写真を撮って 競技の合間には他 心の施設 、る方

平成15年4月1日より**支援費支給制度**が 実施されます。お問い合わせ等は下記まで。

伊賀広域在宅障害者生活支援センター

上野市寺町1184-2 22-2288 /FAX (夜間FAX) 21 - 2745





__ 指輪・ブローチなど

北寺真弓先生と 利用者の村田耕二さん▼



所

一階大ホ 九

j **F**.

ルに

お 工

月

日

野

商

に真剣な表情で取り組んでおられ

点字器と点筆を使い、文章書

加

者は

点字の

基礎を学

h

だ

き あ

-日点字教室を開催 小学生の・

4----# 1 F # .: • 4 14.442.

> をいただきました。 に三十 字教 は 小学校三、 11 あい」の方々のご協 上 の参加があり、 小学三年生の社会の 野点訳奉仕グルー 室』を開催 ·四 組 「小学生 四年生を対象 \mathcal{O} 親子七十六 しました。 0) これに H プ 点

が詳 に当館 ことから、 四年生国語の教科書にも 手と心で読む」 教材『私たちの しく紹介され が紹介され 当館を訪れる 上野 で点字 れている また 市

が手狭 館の行事と重なるなど、 いただかねばなら なため児童数の多 が多くあります。 ない場合もあ しかし施設 い学校 変更をして や当 ŋ

視覚障害者用 パソコンの寄贈を受ける

児童や保護者の方々に、

視覚障害 いる学

いて勉強していただき、

視覚障

情報交換手段の一つである点字

関

心をお持ちい

ただいて

くと共に、 害者につ

人々に対する思い

やり

O

W

ての理解を深めていただ

こころが育

つとい

いなと計

画

しま

NHK厚生文化事業団は『歌謡チャリティーコ ンサート』を実施し、その収益金で全国の視覚障 害者福祉施設・団体に対して、音声ガイドつき 「視覚障害者用パーソナルコンピュータ」の寄贈 をすすめてこられました。

今年度は当館も日本盲人社会福祉施設協議会の 推薦をいただき、一台の寄贈を受けることになり ました。10月16日、小池静一NHK津放送局長が 来館され、かしの木ひろばにおいて贈呈式が行な われました。

小池局長様から森下理事長に目録が渡され、そ の後伊賀視覚障害者パソコンクラブ「伊賀電脳倶 楽部」の研修風景をご覧になりました。

早速、寄贈いただいたパソコンを使用し、 ャナで読み取った墨字(普通の文字)を音声で読 み上げる様子や、ピンディスプレイを使ってパソ



コンを操作する様子をご覧 になられた小池局長様ら 「素晴らしい、ここま で出来るのか」と驚かれて いました。

小池NHK津放送局長から 寄贈を受ける森下理事長

教科書・

名張市広報の

)点訳



-所懸命点字に取り組む子供たち

世に伝えていきたいと、

平成七年三

流 化

の香り れる伊賀。

が高く、文筆の血

が脈

々と

文

その伝統を絶やさず後

本が年同 ·同誌! 九月に十号目が発 伊 編集委員会により創刊され 賀の情報発信誌 館 によって一号~ コン点訳され 元では、 スク九枚・八十五冊にな 十号は現在点訳中です。 点訳奉仕 てい 行され 九 伊賀百筆 グループ て、 号までが まし フロ

グ

者の方々に伊 0) 視覚障害

これ 賀の文化を発 からも 伊

賀百筆』を通じて

全



や北泉優子さんが活躍される町。中時代を過ごし、今は、岸宏子さ

芭蕉翁が生

れ育ち、

横光利

が

岸宏子さん

伊

賀の文化」

を点字で発信

コン点訳された 『伊賀百筆』

ボランテ 作された図 ル 1 ブ 1 あ 書等 ア の 方々 H14 4 1 5 H14 12 (点訳 が

教科書の点訳点字触読指導 点字触読地 点訳図 本書 14 11 夕 夕 イト イト ル ル 71 67 冊

点訳図 グ ル 書 1 参考書等の点訳 ブ 16 タイト あ か ŋ ル 97 冊 (点訳)

ル 1 プ L 0) び (音訳)

グ

中大日山 音訳 上野市広報の音訳 C D図書 木園聞 田 図 村広報の音訳 コラムの音 2タイ 8タイトル 1 訳 ル 40

グ ル 1 ブ 「こだま」 (音訳)

第

一梨ノ木園読書会

音訳図 中C D H 新聞 図 書 書 コ ーラム 11 7 夕 タイト イイト 0) 音 訳ル ル 61



ボランティアグループミックスジュース、 ボランティアグループあゆみ、 上野音訳グループしのび、名張音訳グループこだま

名張点訳奉仕グループあかり、

上野点訳奉仕グループあい、

伊賀北部消防組合、NHK厚生文化事業団、

団

体》

敬称略—

金谷、グリーンティ高尾、甲野屋、

す。

お知 せひろは

ご支援ご協力いただいている方々

ふれあいコーラスボランティア、

(平成十四年六月~平成十四年十二月)

《個人》

敬称略

濱西中中豊谷田曽清佐五川 奥岡岡出森原田本中我水野家浪田森 十 成英尚 夫、子、二、美、実、善、え、子、恩、司、子、夫、代、 三 丸 松 星 好 井 永 内 今 伊 東田 中 藤 大藪 成子、西山 育 久 好 夫、 宏 浜田 中森美年子、 中村 甲中 竹島 稲垣紀代子、 福森つた子、 奥小岡田川田 玉川 杉本ちえみ、 澤 長島 やえ子、 秀貴、 節子、 長男、 進、 竹中 杉森 寺岡 松本みちゑ、 町野富小枝、松田 福森 日置 治多 小林ふじ智、佐治 太田 [實、戸上 宗賢、 三紀代、田中美代子、 美華、 雄一、 りえ、伊達 壽子、 裕益、 保正、 潔ヒ、 秀雄、奥井 宰生、 平井 、松山 中森 世場出 葛原 孝一、 森本 服西部口 中野美智子、 南出 藤井 岡森真理子 大野 宗男、 周幹惠弘康子郎美郎祐裕勇 秀次、

小田町公民館、桂地区、白樫地区、 長田市民センター、長田小学校、 みさと園、上野市、上野市議会、 にんじんクラブ、絵手紙「いろは」、 南山城村役場、予野地区、上野市更生保護婦人会 古山地区市民センター、法花地区、三田公民館 花之木自治会、古山小学校、古山地区、 花垣地区市民センター、花之木公民館、 長田地区自治会、治田地区、花垣小学校、 一野市自治会連合会、上野市社会福祉協議会、 一野市社会福祉事務所、大滝地区、 野市身体障害者福祉連盟 野市視覚障害者福祉会、 大野木地区、 . 恒風寮、

福祉関係の分野で、

衛生大会において、

当協会が県下の 初めて三重県労

された平成十四年度三重県産業安全

月三

旦

三重県文化会館で開催

*

衛生表彰受賞

*

岡八幡宮獅子神楽保存会、月曜会、 前田教育会館、マンドリンアンサンブルセシリア、 白ゆり会、水月会、平岡カラオケ教室、 大寶寺、田守神社、天理教栗太分教会、 白山地区民生児童委員、古山老人クラブ和老会 化垣地区民生委員、花之木児童福祉会、 **呷戸老人クラブ女性部、長田老人クラブ連合会** 一重チャリティー生オケ協会、 一野市カラオケ協会、美しく老いる会、 一野市仏教会、西蓮寺、常住寺、大仙寺 一田地区自治連絡協議会、射手神社、 一野東ロータリークラブ、岡波看護専門学校、 一野市老人クラブ連合会、上野ロータリークラブ

東食品、今岡米穀店、上野ガス、上野都市ガス、 魚留商店、大内郵便局、小川整備、奥田理容店、 JAいがほくぶ古山ふれあい店、 JAいがほくぶ花之木ふれあい店、 JAいがほくぶ花垣ふれあい店、 Aいがほくぶ長田ふれあい店、

鍋本商店、西尾デンキ、西澤精肉店、 田山第一共同製茶工場、田山南部共同製茶工場 フォトサービス平野、福田豊工務店 田山北部共同製茶工場、鶴萬、名張屋製麺所、 コーカ共同製茶、サンショク、竹澤商店、 **占山郵便局、前田商店、町野欣栄堂、村脇電気、** 米岡家具センター



野市民生委員児童委員連合会 野市文化都市協会

ものであります。 ことが評価され と思います。 て努力いたした 層の向上を目指し を励と糧にし、一 今後ともこの賞

生管理活動を積極的に推進している 対策や職員の健康保持増進などの 彰されました。これは、施設の安全 働基準協会連合会長賞として衛生表

衛

* 法人 、内研修 *

平成十四年度は計九回の講演を予定 外移民史』など様々なテーマを取り 上げて研修していま して知っておくべき内容、 感染症予防対策』や『日本人の 法人内研修」を行なっています。 当協会では職員研修の 福祉分野はもちろん、 職業人と 環として 例えば 海

ことのできる職員の 会となっています。 育成を目 の高 し、「自ら考え、 幅広い知識を習 きに行 い内容の研 的 に、 動する」 毎 口

知らせ

ひろば

前

向



☆★☆★ステラの活動★☆★☆

手話を交えた曲にも挑戦しました。 願いし、今年の上野市民文化祭では 足当初より指揮を東構昌子先生にお 年で七年目を迎えます。 介護福祉士など職種もさまざま。 三十六名で保育士、調理 存知ですか? 発足は平成八年、 いうコーラスグループがあるのをご 師、 団員は現在 看護師、

との素晴らしさ、そし て何かを成し遂げたと 込められています。 つまでも歌い続けたいという願い る満天の星のように輝きながら、 で「星」という意味があり、 ステラ という名前はフランス語 心を合わせるこ ・夜空に 457 が 光 11

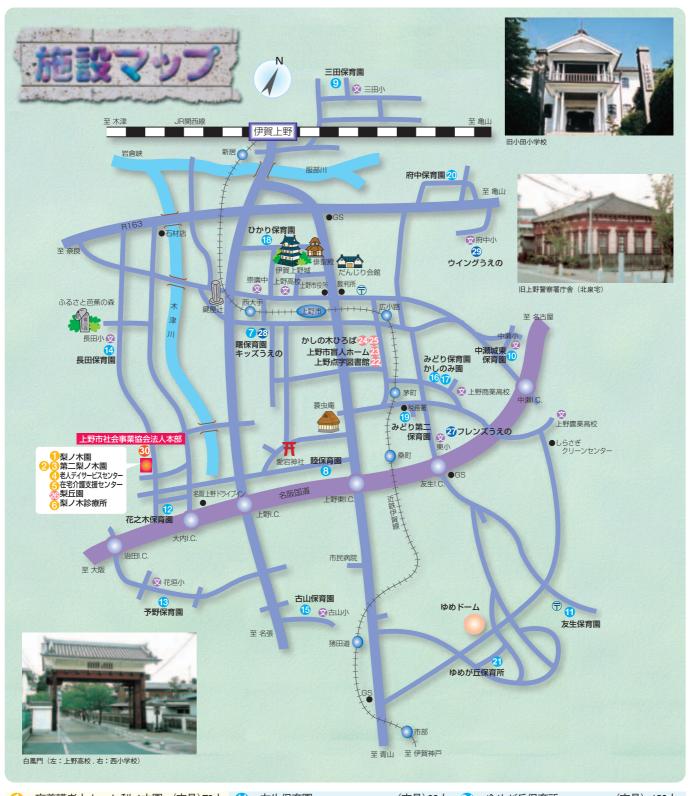
け n

し上げます。当広報の標題も「2002」から 「2003」に移り変わりました。 ☆昨年のわが国の社会経済は相変わらず先の 見えない状況で終始しました。今年の福祉 界は目前に介護保険関係の一部見直しや支

援費制度の導入が迫っています。 ☆当面する諸課題には、ひるまず元気を出し て "気" と "力" を合わせ、ひとつひとつ 確実に乗り越えていきたいものです。本年 も皆様のご支援ご協力をお願い致します。

☆平成15(2003)年の初春を迎えました。旧年 中は何かとご高配をいただき、有り難うご ざいました。本年も何卒よろしくお願い申

ばと思います。 これからもハーモニー を響かせ続けてい い。そんな思いを胸に、 きの喜びを味わいた 当協会職員互助会に ステラ



0	盲養護老人ホーム 梨ノ木園 (定員)7	0人 ①	友生保育園	(定員)60人	21	ゆめが丘保育所(定員	120人
2	特別養護老人ホーム第二梨ノ木園 5	0人 (2)	花之木保育園	60人	22	上野点字図書館	
3	老人ショートステイ 2	0人 (3)	予野保育園	45人	23	上野市盲人ホーム	
4	老人デイサービスセンター なしのき	4	長田保育園	45人	24	在宅障害者デイサービス施設かしの木ひろば	
6	在宅介護支援センターなしのき	⑤	古山保育園	45人	25	伊賀広域在宅障害者生活支援センターかしの木	
6	梨ノ木診療所	16	みどり保育園	150人	26	身体障害者療護施設 梨丘園	20人
0	曙保育園 18	0人 🕧	心身障害児療育施設かしのみ園		2	児童クラブ フレンズうえの	
8	睦保育園 9	0人 📵	ひかり保育園	120人	28	児童クラブ キッズうえの	
9	三田保育園 6	0人 (9)	みどり第二保育園	120人	29	児童クラブ ウイングうえの	
1	中瀬城東保育園 11	5人 😃	府中保育園	90人	30	法人本部事務局	